



1999
新年号
No.10



朝焼けの富士（南アルプス・小赤石岳）

目 次

新年のあいさつ	P2	自然を愛する者に悪人はいない	P8
社団法人静岡県造園緑化協会 会長 西野勢作		静岡県公園緑地課長 犀井義之	
快適空間しづおかをめざして	P3	「富士山寒翠」制定記念式典東京で開催	P9
静岡県知事 石川嘉延		静岡市造園緑化事業協同組合が 静岡市駿府公園修景園整備事業を受注	
新年のご挨拶	P4	シニア・ワーク・プログラム三会場の講座終了	P10
静岡県環境部長 吉岡徹郎		支部だより	P10~11
この指とまれ！東海道400年祭		中部支部 幸仕作業に汗流す 西部支部 学校庭園の管理の幸仕作業	
県生活性文化部門未来都市東海道400年祭推進室長 大澤由紀子		東静岡フェア00に出展 若手者研修会を開催	P11
[IFPRA]世界大会 2004年しづおか	P5~7	話題の森・お知らせ・編集後記	P12
国際園芸博覧会と同時開催決定			
静岡県造園施工管理技士会中部支部	P8		
秋の研修会を開催			

新年のあいさつ



社団法人

静岡県造園緑化協会

会長 西野勢作

新年を迎えるに当たりまして謹んでお慶びを申し上げます。

グローバル化と云う大きなうねりの中で情報の公開が強く求められ国内の情報はもちろんのこと世界中から急速に情報が流れています。一九九〇年のバブル崩壊によって一挙に日本経済は変り大手銀行・大手ゼネコン等の経営悪化は倒産・再編史上最悪と云われる中小企業の倒産や廃業など長期化する不況の中で暗いニュースばかりで一向に明るい展望が見えてまいりません。私達園業界も公共工事の減少や民間工事の冷え込み受注競争の激化それに伴う利潤の低下など多くの課題をかかえ、その迅速な対応を迫られております。本年は天皇・皇后両陛下をお迎えしての全国植樹祭が伊豆で行われます、これを皮切りとして隔年ごとに次々大きなイベントが始まります。静岡空港・第二東名高速道路等の大規模工事も佳境に入っています。こうした大きなイベントや大規模事業に大きな役割が持てる様に基盤的部分を的確に消化しながら積極的に取り組んでいるところです。建設業界は今生き残りをかけ死にも狂いで現状突破に使命をかけております。行政の政策として快適な住環境作りを推し進める事業はこれから大きく展開されるものと思います。建設ビッグバンによる異業種からの参入を覚悟しながら最大

限の対処を業界一体となつて取り組む時が来ていると思います。小さな変化の対応を適確に積み重ねて行く事が大きなかつた。日本のあらゆる分野で構造改革を強く求められている中で造園業界の現実を直視する時、いまこそ根底から見直す時だと思います。今業界が最も必要としている再編へのシナリオは経営者各々が真剣に独自の見識と裁量によって業界一全体の秩序ある協調と團結を意識する事だと思います。今誰もが生活する上で一番幸せな環境とは昔は誰にでもあたり前のように恩恵を受けていたきれいな木・きれいな空気そして騒音のない静かな環境ではないかと思います。私達の仕事は

きわめて社会性が高く指定建設業種と云う誇りと自信をもつて自然環境作りに貢献していると云うプライドはいつまでも持ち続けたいと思います。

これから二十一世紀に向っていよいよ高齢化・少子化の問題が起つてまいります。私達業界も労働力確保やシルバーパートナーの活用など難しい局面が出て来るものと予想されますが、私達は与えられた社会的責任において言葉遊びに惑わされず事実に対していつも冷静な認識をもって、この時こそ真心をもつて本音で実行に移す時だと思います。

関係官庁・関連団体の皆様の御指導と御協力をお願い申し上げ皆様方の御発展と御多幸をお祈りし新年の挨拶といった

日本文化の一つであった門松が一般家庭から消えて久しく、今ではデパートや官庁で見かける程度になってしまった。

門
松



協会贈呈の県庁の門松

快適空間しづおかをめざして



静岡県知事 石川嘉延

明けましておめでとうございます。県民の皆様には、それぞれ新年への抱負も新たに、よい年を迎えたこととお慶び申し上げます。

近年、わが国の経済状況は、まことに厳しいものがありますが、このような時であればこそ、県民の皆様と共に、大きな希望をもって新たな可能性に積極的にチャレンジしていくうえ決意を新たにしております。

本年三月には静岡県コンベンションセンター「グランシップ」が、五月には「富士山こどもの国」がオープンを迎えますが、これらの活用により国内外との交流や新しい文化の創造をめざすとともに、次代を担う子どもたちに夢と感動を与えてまいります。

また、舞台芸術の祭典シアター・オリンピックスや国際オペラコンクール、静岡学術フォーラムをはじめ、全国植樹祭や技能五輪全国大会など、新しい時代に向けた個性豊かなイベントを開催し、静岡県の魅力を国内外に発信していきます。

一方、静岡空港や第一東名自動車道など、県民生活や活発

な経済活動に必要不可欠な社会資本の整備にも引き続き積極的に取り組んでまいります。また、急速に進行している少子・高齢化への対策をはじめ、がんセンターや静岡文化芸術大学の整備など、生活に身近な福祉・医療・教育水準の一層の向上に努めるとともに、本県の活力を支える新たな産業や人材の育成、豊かな自然を守る環境対策の推進などの施策も着実に勧めてまいります。

厳しい財政環境の中ではありますが、新しい行政財政システムの構築と効果的、効率的な行政の運営によって、これらの施策を着実に推進し、住む人も訪れる人も心から快適さを実感できる、豊かな感性と活力にあふれた「快適空間しづおか」の実現に向けて、全力を傾注してまいりたいと考えております。

皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、御健康と御多幸を心からお祈りし、新年のごあいさつをいたします。

平成十一年元旦

フキノトウ



フキノトウと言えば春の代名詞。キク科のフキの花のつぼみのこと、別に「フキノトウ」という植物があるわけではない。日だまりでは早春の日差しを浴びてそろそろ顔を出す。朝のみぞ汁に刻んで浮かすと春の香りが漂う。そのふきみそ、てんぶらやごてん醤みそあえ、また、丸のまま焼いてみそを付けて食べても春を味わうことができる。

フキは雌雄異株。雌株から伸びた花茎を見ると多くの花が集まっている。花をつくっている暖かくなると花芽が伸び、受粉の終った種子の冠毛も伸びてタンボボのように風に吹かれ飛んで行く。雄株はというと雌しべが退化して雄しべ中の頭状花で花粉を出してしまえば用がなくなり、あまり生長することなく枯れしていく。

新年のあいさつ



静岡県環境部長 吉岡徹郎

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、それぞれ新年への希望新たに、よい年を迎えたこととお慶び申し上げます。

また、日ごろは静岡県の絆豊かな県土の創造に向け、大変な御尽力をいただき、誌上をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

二十一世紀を迎えるにあたり、環境問題は、大変、複雑且つ多様な問題が次々と出てまいりました。

地球の温暖化をはじめ、ダイオキシン、環境ホルモン、トリクロロエチレンによる地下水汚染、廃棄物問題など環境行政を担当する者として、大きな重責を感じているところであります。何とかしなければいけません。

考えてみますと、こうした問題は全て一千

世紀に繋がる人々の生活文化の結果として引き起きてされているものであり、私は、それが他の関わりを真摯に受け止め、環境への負担の少な社会の実現を目指す決断をしなければなりません。

我が省では、問題の解決に向け「行動がなければ解決とな」との認識に立つて「一歩」を策定し、それぞれの立場からの取り組みをお願いしているところであります。是非、皆

様も一層の御協力をお願い申し上げます。

さて、近年、森林は木材生産の場としてばかりではなく、温暖化防止のための「酸化炭素固定機能」、豊かで清らかな木を育む「水源から養機能」、「空気をきれいにする」、「大気浄化機能」など豊かな環境財として見直されております。

このようなことから本年も県民参加の森づくりを積極的に推進してまいりますが、中でも大きなイベントは五月三十日に西天城高原において第五十回「全国植樹祭」を天皇皇后

両陛下御臨席のもとに開催いたします。この植樹祭は県内外から一万人が超える人々が参加し、しまっしゃややマボウシ、ナツミヅクシなど植樹をして、植樹地を天城の森として二十一世紀へ継承してまいります。

また日本のシンボルであり、人々に様々な恵みをもたらしている富士山の環境保全対策につきましては、保全指針に基づく対応や、昨年十二月に山梨県と共同で策定いたしました富士山憲章を国内外にアピールし、いつまでも美しい富士山を未来の子供たちに伝えていきます。

皆様の一層の御協力をお願い申し上げますとともに、御健康と御多幸をお心からお祈りし、新年の「あいさつ」いたします。

この指とまれ！ 東海道四〇〇年祭



県生活文化部ゆめ未来局
東海道四〇〇年祭推進室長 大澤由紀子

歴史を生かした町づくり

二十一世紀スタートの年、二〇〇一年は、東海道に宿駅制度が出来て四〇〇周年です。

県ではこれを記念して、東海道四〇〇年祭事業を始めています。この事業は東海道を始め、海川を含めた県内の道筋に残る歴史・文化を

生かして町づくりを進めるものです。

静岡的には、往時を忘せる松並木や石垣等の史跡、祭りや伝統芸能、伝説、名物等、もは

やお金では買えない出来ない財産が数々残っております。かけがえのない財産を先ず、地域の人達が認め、これを切り口に自分達が自慢できる町づくりを進め、かつて、東海道から我々が様々な恩恵を受けたために、次代を担う人達に財産を残していくべきです。

皆の参加が成功の鍵！！

この四〇〇年祭では、県が主導しながら進めることで、里山や並木等歴史の残した緑の財産を守るために、エントリーをしていただければと用意しております。

■詳細は県ゆめ未来局東海道四〇〇年祭事務所へ

TEL ○五四(三二)一九一四



承認されると、いくつかのサポートを受けられます。

二つが広報です。皆さんの事業をイベントカレンダーに掲載する等PRをするほか、のぼりや法被等のグッズを貸し出します。

二つ目は企画での応援です。専門家が皆さんとの計画の相談にのるほか、専門家のご紹介もあります。

三つ目は補助金での応援です。全部の事業に補助するのではなく、もちろん審査があります。

二〇〇一年まで四回に亘って募集しますが第一次は平成三十一年の一月四日より受け付けます。この年の主な読者の皆さん、是非周囲に

聞いていただき、エントリーをしていただければと用意しています。

このため、県ではより多くの方々に参加していただきるためにエントリー制度を設け、皆さんの作った計画を支援していきます。

対象となるのは市町村、民間団体、企業の皆さんの知恵やアイデアで計画し、二〇〇一年に実施する事業です。

「I-FPRA」世界大会 —100回年しづおか国際園芸博覧会と同時開催決定

静岡県と浜松市が誘致を進めていたI-FPRA(International Federation of Park & Recreation Administration=国際公園レクリエーション管理行政連合)世界大会が、100回年(2004年)に浜松市で開催されることが決まりました。これが国際園芸博覧会と同時に開催されることで、オーストラリア・メルボルン市で開催中の第10回世界大会のコミッショナー会議で決定された。同大会が日本で開催されるのは初めて。

協会としては国際園芸博覧会を盛り上げるべく同時開催の実現をめざして誘致活動支援のため山内敏男副会長理事と川崎順二専務理事を派遣しました。

開会式における会議場

I-FPRAは、公園、レクリエーション、アメニティ、余暇対策及びこれらに関する公共サービスを振興するため、加盟各国・地域が当面する公園・レクリエーション施設の管理運営に関する技術と行政問題を国際的に討議し、その発展及び国際間の情報交換などを目的とした組織である。

政機関、大学、学会、公益法人等の公園、レクリエーションをめぐるさまざまな問題を専門家個人を会員としており、現在、世界40か国・地域から四六四会員団体一二四、個人三四〇)が入会している。日本からは関係公益法人三六団体、個人三〇人が会員加盟しているが、勿論その一員に財團法人浜松市公園緑地協会も加入している。事務局はワンドンに常駐されている。

世界大会は三年に一度開催され、次回は二〇〇一年に南アフリカで開催されることが決定しているが、今回の浜松開催決定で世界各国から多くの

エキシヨンに関する公的团体と専門家個人を会員としており、現在、世界40か国・地域から四六四会員団体一二四、個人三四〇)が入会している。日本からは関係公益法人三六団体、個人三〇人が会員加盟しているが、勿論その一員に財團法人浜松市公園緑地協会も加入している。事務局はワンドンに常駐している。

世界大会終了の二十三日までオーストラリア滞在となつた。十六日に関西国際空港から出発し、シドニー経由で正午にメルボルンに入る。早速現地開会前に浜松をアピールする田中次長

研究者らが浜松市を訪れることがあります。国際園芸博覧会にも一花添えることになりそう。

この世界大会説明にあたっては、浜松市が印刷・輸送しておいた英文による説明のための資料や協会が輸送している静岡県PRのポストカード等を点検し組合せを行ったところ、カナダのモントリオール市が候補との間に届け、十八日の会議に備えた。

コミッショナー会議は、十八日、午後四時三〇分から市庁舎で開催され、我々四名も通訳とともに控室に同席の許可を得ての参加。本会議前に田道夫公園建設課用

地係長の二名が説明活動のため渡航することになり、協会も浜松市開催実現のため二名を派遣した。

開催場所を決定するコミッショナー会議は十月十八日、午後四時三十分からであったが、議題が多く、議事に時間がかかると会場所の決定は何日になるかわからないという。そのため世界大会終了の二十三日までオーストラリア滞在となつた。

ド市から市長自ら出席してビデオを駆使しての説教演説。コミッショナー以外は発言権がないと聞いていたので、これまた誤算で胸の高なるのを押さえて裁決を得つた。

二二二か国コミッショナーリーにより、一票の投票結果、日本一四四票、カナダ八票で浜松開催が決定。はるばるメルボルンまで来て努力の成果が実り四人とも肩の荷が下り、あとはメンバー登録をしていたさまざまな行事に参加し、致演説を詫し、市勢、地理的条件、国際的な宿泊施設、国際園芸博覧会の開催など浜松の優位性をアピール。一方、カナダは、モントリオールの情報は誤りで、その隣接の人口十万余方のブランズフォードモニー、本会議に出席。また



開票結果を待つ緊張の瞬間

同センター内の造園関連諸機材展示場の一角に浜松市の展示コーナーを設け、国際園芸博覧会や浜松の宣伝に努めた。その他、オーストラリアのタベ、ランチセミナー、最終日前夜の大會主催ディナー等に参加し、その運営状況を学ぶとともに、市内の王立植物園、都市公園等を精力的に視察研修を行つた。あつとい間の九日間でこの大会に参加して感じたことは外国人のバイアリティ。

二二二か国コミッショナーリーにより、一票の投票結果、日本一四四票、カナダ八票で浜松開催が決定。はるばるメルボルンまで来て努力の成果が実り四人とも肩の荷が下り、あとはメンバー登録をしていたさまざまな行事に参加し、致演説を詫し、市勢、地理的条件、国際的な宿泊施設、国際園芸博覧会の開催など浜松の優位性をアピール。一方、カナダは、モントリオールの情報は誤りで、その隣接の人口十万余方のブランズフォードモニー、本会議に出席。また

イヌイ。日本のようにコンパクトに切りきさんだ街路樹はさがそうにもない。街路樹とばかりありたいものだ。



本会議場



浜松PRコーナー（コングレスセンター）

も樹齢一〇〇年以上的木が林立して圧巻である。街路樹も巨木の並木、自動車はその木陰をス

とにかくIFPRA世界大会の浜松開催が決定し、肩の荷が下りた。そして二〇〇四年に何名今回の参加者に会えるだろうか。今から楽しみだ。

フィツロイ公園

開園／1850年代

面積／26.1ヘクタール

概要／

大木の茂った小道、広々とした芝生広場、低木や花壇、人工池やシダ植物の茂った流れがある。大陸発見のキャップテン・クックの家も復元されている。



フィツロイ庭園内の園路



年中花を欠かすことのないフィツロイ庭園の温室



王立植物園のマロニエの大木

王立植物園

開園／1846年

面積／35.4ヘクタール

概要／大きな芝生を背景に大木や低木、花壇が配置されている。国内外の専門的な収集がしてあり、その数は12,000種以上となっている。



新緑のエルム大木の並木

造園施工管理技士会中部支部

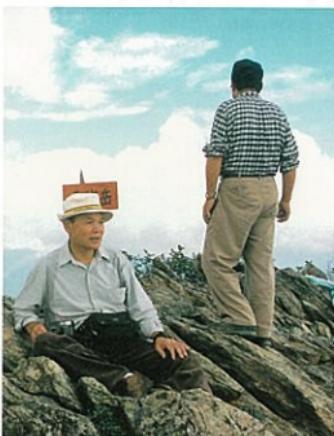
秋の研修会を開催



静岡県ゆめ未来アドバイザリー、
国際園芸博覧会基本計画プロ
デューサー等で活躍されている。
源平支部長のあいさつと講師
紹介のあと二時間に及ぶ講演
に会員は熱心に聞き入っていた。
まず、「ガーデニングと造園」
という内容でコンサル業は何で
もできるとして設計に組み込
むが施工側はできないできな
いといつて自分の領域を狭めて
いる。ガーデニングブームだか
らといつて生産農家に造園建設
業ができるわけがない。今の造
園業界は公園緑地建設
業で造園業でないと手
厳しい。次に「花と造園」
といふことで、花は我々
人間の原風景、自然の
中で最もやさしい表現
が花であり、花と造園
を取り離したのは江戸
時代で、これからは一緒
でなければならないと
いう。

中部支部（支部長 源平 太）
は十一月十二日、午後静岡市
南町の東海軒会館で講師に
(株)グリーンダイナミクス 代
表取締役 賀来宏和氏を迎
て研修会を行った。

氏は平成四年、建設省都市
局公園緑地課を退職後、現在の
コンサルタント会社を設立し、
在職中の四年間にわたり大阪
国際園緑の博覧会開催準備
業務の経験を生かし、花と緑に
係るイベントの企画、立案、運営
や花の街づくり運動等の企画
を実施している。静岡県では、
イベント等をスライドを



千枚岳山頂にて

自然を愛する者に悪人はいない
静岡県公園緑地課長 狩野義之

使用して紹介され、最後に世
界を見て日本のガーデニングは
どうなっていくかとまとめ、日
本は諸外国と比較し、官主導
型で緑、花は人間の根源的な
ものであり、うわづらのガ
ーデニング的なものは一過性であ
る。これからは植物学的な知
識を求めるようになるだろう。
それには日本にはまともな植
物園がないが皆さんもっと勉
強しなければならない。また、
日本の原種系の素材をどう生
かすか、今までのようヨーロ
ッパに先取りされてはためであ
る。そして、これからは経済一
辺倒では世界に相手にされな
い。ヨーロッパに敗けないような
園芸文化を築いて行かなければ
ならない、と結ばれた。

自然の美しさほど人を感動
させるものはない。
先日、私は奥大井二軒小屋
と南アルプスの千枚岳を訪れる
機会を得た。途中、さわら鳥か
ら二軒小屋にかけて見える赤
石を初め南アルプスの山々の見
事さ。そして、清澄な空気と清
らかな奥大井
川の流れには
たとえようの
ない清々しさ
を感じた。その
素晴らしい自
然の中に身を
浸していると
身体の芯まで
自然の生気が
染み込んで心
が洗われ日頃
の疲れも吹き
去る。川のせせらぎに小さな滝も
あり、緑の木々に囲まれた川
原で、家族でバーべキューや魚
釣りなどを楽しむには絶好の
場所である。

三番目に世界の緑化、
イベント等をスライドを

私は、たまたまそこを通りかかったのだが、この近くの部落のお年寄り達で、数人の人達が一所懸命に付近の掃除をしていた。弁当カラやジュースの空き缶、それに、バーベキューの残渣や発砲スチロールの皿等が既に一か所に山と積まれていた。まだ盛んに収の中のゴミを搔きだしているおばあさんに声を掛けてみた。「凄いゴミで大変ですね」、すると「今日はまだ少ないほうですよ、気候がよくなるこれがワシらの仕事でねえ、街から若い衆が大勢きてくれるのは嬉しいが、もう少し行儀良くしてくれんとなえ」と笑いながら話してくれたけれど、そのときの言葉が今まで妙に心の奥底に重くのしかかっている。

静岡県の唯一の秘境といわれれる奥大井二軒小屋と南アルプスの山々も、今では比較的簡単に訪れる事ができ、最近ではツアーバスをしたて様の人達がこの素晴らしい自然を堪能しにやってくるという。

私が、二軒小屋と南アルプスの山々を尋ねたときに味わったあの感動を思えば、一人でも多くの人に自然の素晴らしさ

の年寄り達で、数人の人達が一所懸命に付近の掃除をしていた。弁当カラやジュースの空き缶、それに、バーベキューの残渣や発砲スチロールの皿等が既に一か所に山と積まれていた。まだ盛んに収の中のゴミを搔きだしているおばあさんには声を掛けた。「凄いゴミで大変ですね」、すると「今日はまだ少ないほうですよ、気候がよくなるこれがワシらの仕事でねえ、街から若い衆が大勢きてくれるのは嬉しいが、もう少し行儀良くしてくれんとなえ」と笑いながら話してくれたけれど、そのときの言葉が今まで妙に心の奥底に重くのしかかっている。

静岡、山梨両県で進めている

「富士山憲章」がこのほど完成

し、十一月十八日、東京丸の内

の東京国際フォーラムで制定記

念式典が開催され、世界へ向け

て富士山保全の憲章が発信された。式典には、真鍋賢二環境庁長官らと両県の知事、市町村の関係者、在京県人など約四百人が出席し、当協会からも西野勢作会長、川崎順二専務理事が出席した。

憲章は両知事立会のもとに発表され、保全運動への決意を表明した後、県コンベンションセンターにて「グランシップ」の山本篠館長の司会で「富士山の豊かな自然を未来に引き継ぐために」をテーマに、カナダとのテレビ二元中継でパネル討論を行い、保全のための具体的な方策を探った。パネリストとしておばあさんの言葉を思うと一寸心配の面もある。

しかしそれだけに、あの時おばあさんの言葉を思うと一寸心配の面もある。

けれど私は、本当に自然を愛する者に心得者はいないと信じているし、何時までもある。この素晴らしい自然を堪能するうと信じている。

そして、再び訪れるときには、あの感動をまた味わうことができる」とを確信している。



冬の富士山

静岡市が駿府公園跡地の駿府公園第三工区で計画している日本庭園や茶室などの整備のうち修景園整備を、静岡市内の協会員十社で組織する静岡市造園緑化事業協同組合(飯田正徳理事長)が二億六千三百万円で落札し、十二月十五日の市議会で契約締結が承認された。工期は十三年八月二十八日まで。

静岡市が駿府公園跡地の駿府公園第三工区で計画している日本庭園や茶室などの整備のうち修景園整備を、静岡市内の協会員十社で組織する静岡市造園緑化事業協同組合(飯田正徳理事長)が二億六千三百万円で落札し、十二月十五日の市議会で契約締結が承認された。工期は十三年八月二十八日まで。

静岡市駿府公園修景園整備事業を受注

本年度から整備着手するのは、駿府球場を解体して発堀調査を行った地区を中心とする約二・三ヘクタール。平成八年度に東京の総合設計研究所が行った実施設計に基づいて、日本庭園、茶室、広場などを整備する。

日本庭園は平成十三年、十月の「世界お茶まつり」の開催にあわせ建設するもので、約一

「富士山憲章」制定記念式典

東京で開催



パネル討議

は両知事のほか女優の星野知子さん、C・W・コルさん、カナダから自然学者ボブ・スタンフォード氏ら二人が参加した。

これから将来米国に向けての環境保全運動をどう具体的に行動をおこすかが注目されるところであるが、協会としても何らかの形で協力、支援しなければならない時代が来るものと思われる。

ヘクタールの敷地内に回遊式で
築山にせせらぎや池を配し、松
やモミジ、ツツジ、ボタン、梅な
どの樹木や花卉を植えて四季
折々の変化が楽しめるものと
なっている。

今回の受注は、厳しい環境の
続く建設業界にあって、零細企
業の多い地元企業がいかに生
き残るかの示唆を与えてくれ
るものと期待されている。一度
とない本格的な日本庭園の建
設とあって、ポイントとなる施
工場面では協同組合の協力を
いただきながら協会の技術研
修も開催したいと考えている。

業の多い地元企業がいかに生
き残るかの示唆を与えてくれ
るものと期待されている。一度
とない本格的な日本庭園の建
設とあって、ポイントとなる施
工場面では協同組合の協力を
いただきながら協会の技術研
修も開催したいと考えている。

シラ・ワーク・プログラム 三会場の講座終了

協会では、県商工部の要請
を受け、(社)静岡県シルバー人
材センター連合会からの依頼
で、定年退職者のための教育の
一環として造園・緑化技術の
講座を開催しているが、十一月
二十七日に三会場目の掛川会

場の講座を終了した。

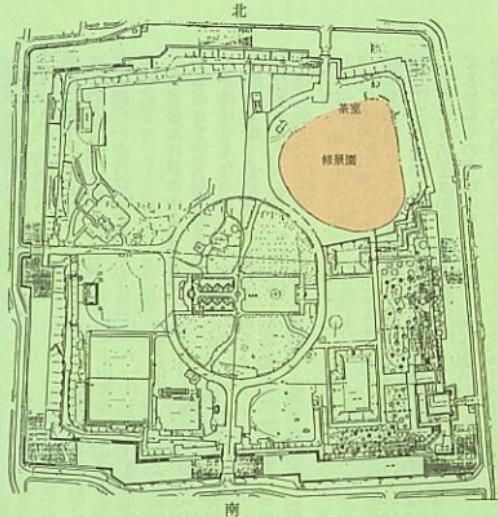
これは、これから到来する高
齢化社会に向けて、六十才で
停年を迎えた人を教育し、再
雇用してもらおうというもの
であるが、現在のような経済

浜北会場二十名、掛川会場
二十七名が受講している。
残りは沼津会場で二十五名

の希望者があり、十二月一
日開講し、十四日に終了式
を行う予定である。

今まで熱海会場十二名、
やかな雰囲気で進んでい
る。今まで造園建設業界
も新たな雇用力はなく、せ
つかくの受講生も思ったよ
うに就職できないのが現状
である。

しかし、趣味と実益を兼
ねているので講座もなご
やかな雰囲気で進んでい
る。



駿府公園修景園整備工事位置図



中部支部

支部だより

奉仕作業に汗流す

秋も深まつた
十月二十七日
暫く途絶えてい
た中部支部の奉
仕作業に汗を流
した。

当日は豪空で
今にも雨が降り
そうな日であつ
たが、午前八時
ユニックをつかっての高所作業
秋も深まつた
十月二十七日
暫く途絶えてい
た中部支部の奉
仕作業に汗を流
した。
池田山自然公園は数年来、満
足な管理が行届かず、伸び放任
に伸びたツツジ類の刈り込み、大
量の枝条の片付けに公園内の
斜面を昇ったり、降りたりで、普
段は人を使う立場の会員も今日
ばかりは自ら汗を流してささか



永井聡二技術委員の指導による測量実習

勝手が違うようであった。

一方、南沼上公園は伸び過ぎたヤキの枝抜きなど機械を使つた高所作業で、安全に注意しながらそれぞれの自慢の技を披露した。

金額にすると相当な作業量であったが、全員の奮闘により午前中で作業を完了。静岡市からの感謝の言葉に疲れもふっ飛び、公園内を見食をとて解散した。

会員の皆さん、御苦労さまで

一日程は十月三十一日から十

月三日までの四日間で植木

等の販売、ザンカ苗木協会

オリジナルの小冊子の無料配

布を行うとともに緑化相談コ

ーナーを設け、市民の緑化相

談に応じた。

会場はオーブンしたばかり

の東静岡駅の北口広場です。

ぐ南には巨船をイメージした

静岡県コンベンションアーツセン

ターがそびえ立ち、四日間大

勢の市民でにぎわった。

開会初日の三十一日には小島

市長のあいさつ、篠崎助役の開

会宣言、市消防音楽隊によるオ

ープニングファンfare、演奏、

花火の打上げ等が行われた。

開催期間中は、我々の植木市

のほか、農産物の販売、水産加

工品の販売、ふれあい動物園、

親子木工作教室等も同時に開

催された。

作業は松の大木がたくさん

あり、また同校のシンボルとな

つている樹齢約百年のフジの木

などがあり大変ではあったが、

それぞれの職人の腕前は確か

なもので安心すると共に各社

東静岡フェア'98に出展



にぎわう東静岡フェア

西部支部

学校庭園管理の奉仕作業

本年の西部支部の奉仕作業は浜松市東町の河輪小学校(福



率回しの手入れを行なう会員

の日頃の指導に敬服する次第である。これを機会に更に躍進するよう一層の努力をと決意を新たにしております。

また、当日は教頭先生も職員には大変な作業なので助かりました」とお礼の電話をいたしました。

河輪小学校の校長先生も職員にはたくさんのおやつまでいたたき大歓迎を受け、会員も感激して来年も河輪小学校の奉仕作業をやりたいという感想でした。

若年者研修会を開催

本年の若年者研修会は、十一月二十日、山梨県甲府舞鶴公園(甲府城址)と宝石庭園見学を行いました。

参加者は五名で、舞鶴公園は丁度大規模な石積作業中でたいへん勉強になったのではないかと思われます。宝石庭園はたいへんな経費がかかっており、かなりの集客があり、地域振興にも貢献しているのではないかと思われます。

かと発案者に敬服した次第です。

また、街並は

ハナミズキやシ

ラカシ・イチヨ

ウ・ナナカマド

などが植えら

れ、ハナミズキ

の咲く頃は見

ごとであろう

と想像してお

ります。(支部

長・片桐記)

11



編集後記

本号はメルボルンでの活動を中心にして編集しました。次号は四月一日を予定しております。県人事、関係予算が主な内容となります。が会員の投稿をお待ちしております。

静岡空港の本体部造成工事着手に伴う安全祈願祭と起工式が二十日午前、榛原郡榛原町坂口の現地で行われ、石川義雄知事はじめ、地元町、地権者団体の代表ら約三百五十人が参加した。本年度は公約十万平方㍍の用地造成工事や二つの公用道路工事を進める一方、空港建設に対する住民団体は起工式施行を許さない」として、予定地内で抗議集会を開いた。(関連記事2面)

安金祈願祭は午前十時十八年春の開港に向けて全さから行われ、石川知事や力發けで取組む」と強調した。建設促進協議会長、地元の安富正丈運輸航空委員の安富正丈運輸航空局次長、川井祐一静岡空港局長らが次に祝辞を述べた。工事開工式の無事完成を祈った。

境自然環境の保全に十分続いて開かれた起工式で、石川知事や来賓、地権者代表は「必ずやこの開港をめざして」と協力を呼び掛けた。この後、来賓の佐野康輔県会副議長、安富運輸省航

石川空港の整備について「新世紀の静岡県の発展を担う最大のプロジェクト。平成二年十二月に予定地が決定、平

静岡空港

榛原で
起工式

知事「18年春開港へ全力」

本体部造成に着手

話題の森

去る十一月二十日、午前十時から榛原町坂口の現地で、空港本体部造成工事着手に伴う安全祈願祭と起工式が行われた。石川義雄知事は「将来、世界的な規模で人々の交流が進むと確信している。その時に、この空港がなかったとほぞをかむことがないようになりたい」と強調。全国に例のない自然環境保護に配慮した空港を目指しており、我々協会員の活躍の場が多くなる」と期待される。

新おめでとうございます。本年の初春講演会と賀詞交歓会は次の日程で開催しますが、それに先立つ欠員となっている東部支部選出の理事承認の件を議題として臨時総会も開催します。会員各位の出席をお願い致します。

- ◆開催場所 静岡駅前(北口)日興会館
- ◆開催日時 一月十三日(水) 午前十時受付
- ◆内容 ○開催総会

十時(5分)～十時三十分

○初春講演会

十時三十分～十一時五十分

○演題 静岡国際空港見学会と

造園建設業界の展望

講師 (株)グリーンダイナミクス

代表取締役 賀来宏和氏

○賀詞交歓会

十一時より